

川上ダム通信

2014
12
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

Vol. 111
Since 2005

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



川上ダム促進要望

地元の皆様が水機構本社を訪問

11月4日(火)、伊賀市青山地区選出市議会議員及び青山地区住民代表16名の皆様が、埼玉県さいたま市の水資源機構本社を訪問されました。これは、ダム検証の結果「川上ダムを継続する」との国土交通省方針が今年8月に発表されたことを受け、地元の皆様が、4日は水機構本社、5日は東京霞ヶ関の国交省まで足を運び、国交省と事業主体である水機構に対し、事業の一層の促進を直接要望されたものです。

水機構訪問では、水機構を代表して^{こうむらけんゆう}甲村謙友理事長をはじめ、川上ダム担当理事、部長等5名が出席しました。冒頭、森正敏伊賀市議会議員から「水機構には、創刊以来110号にも及ぶ毎月の



水機構本社を訪問された皆様

ダム通信や年度事業説明会など情報発信に尽力してもらっており、住民からも好評。ようやくダム検証が終わったので、1日も早くダム本体工事に取りかかってもらいたい。」とご挨拶がありました。

理事長は、「地元の皆様には日頃より事業にご協力を賜り深く感謝しています。近年雨の降り方が変化しており、洪水に対しても渇水に対してもダム整備の重要性が増しています。皆様のご期待に沿えるよう、早期の本体着工とダム完成を目指し頑張っています。」とお応えしました。その後の懇談では、「早く本体着工し、既に亡くなられた方々の思いに報いてほしい。」「高齢化も進んでいることから、早くダムが完成することを願う。」など、川上ダム建設促進を求めのご意見が数多く出されました。

このような皆様の生の声に接し、理事長以下、川上ダムの早期本体着工及び完成を固く心に誓った次第です。当建設所としましても、全力で事業の進捗に力を尽くしてまいります。

【所長 神矢 弘】

労働安全のプロが工事現場をチェック！

当建設所では、主に建設業における労働災害の防止と安全意識の向上を目的として、定期的に工事現場の安全パトロールを実施しています。

11月6日（木）には、特別に伊賀労働基準監督署の署長及び安全専門官をお招きし、労働災害の防止に関する講話をいただきました。その後、合同で付替道路の工事現場にて安全パトロールを実施しました。

講話では、労働災害の死亡者数は、業種別では建設業が最も多く、割合にすると30%を超えるとの驚きの数字が示され、他業種よりも事故が重大災害につながりやすい業種であることを認識しました。

また、安全パトロールでは、労働安全のプロとして、仮設足場の設置状況や重機の保管状況等、工事現場をきめ細かくチェックしていただきました。

今回、労働基準監督署の方にも参加していただいたことで、当建設所職員及び工事受注者の安全に対するより一層の意識向上が図れたと感じました。

当建設所では、今後も安全確保を最優先に無事故・無災害で事業を実施していきます。



監督官（写真右）の鋭い眼差し！

【総務課 渡辺高志】

川上ダム建設所も参加！ ～桐ヶ丘フェスタ2014～

11月8日（土）、伊賀市桐ヶ丘において「桐ヶ丘フェスタ2014」が開催されました。

当日は秋晴れのもと、朝市コーナーやフリーマーケット、青山中学校吹奏楽部による演奏やよさこいソーラン（桐ヶ丘どっこいしょ）等の盛りだくさんのアトラクションが次々に行われ、大変な賑わいを見せました。

当建設所からもパネル展示等のブースを出展しました。



「水の調査隊」も来てくれました！

先月号で紹介した「水の調査隊」で、川上ダム建設予定地を見学した

小学生も遊びに来てくれて、展示していた石琴をたたきながら、「これ、見に行ったところの石で出来てるの？」等、声をかけてくれました。

他にも、航空写真で自宅を探される方や、パネル前で熱心に質問される方等、多くの方が来られ、川上ダムについて、より深く知っていただくことができました。



展示パネルにて説明中

【第二用地課 小野博司】

伊賀の珍祭 種生神社秋季例大祭

10月26日(日)、川上ダム建設予定地の上流に位置する伊賀市種生にある種生神社で「種生神社秋季例大祭」が開催されました。

各地の神社で行われる「わたり」という儀式をご存じですか。わたりとは本殿の神霊を御神輿にのせて御旅所に渡御するものです。そのやり方は神社によってそれぞれユニークな古式を伝えています。ここ種生神社で行われるのは「こたつき渡御」というもので、獅子神楽を先頭に、御神輿、こたつき、相撲旗、氏子の行列、だんじり、馬駆けの順で約100メートル先の御旅所まで3往復練り歩きます。種生神社のだんじりは変わっていて、

山間部ではとても珍しい船の形をしています。これは昔、鹿島の神(種生神社の本来の祭神)が船で渡御した姿を移し伝えたものといわれています。また、帆の形をしたこたつきを担ぎ、御神輿に随ってわたりの道中大声で舟歌を歌います。伊賀ではちょっと類をみない特徴的な祭です。

伊賀の珍祭と言われているこの例大祭には、今年もたくさんの方が見物に訪れていました。来年は、皆さんもこの珍祭をご覧になってはいかがでしょうか。

【第一用地課 高橋重樹】



御神輿担ぎの男たち

理事長賞・特別賞のダブル受賞！

11月12日(水)～13日(木)、水資源機構本社(さいたま市)において、平成26年度(第48回)水資源機構技術研究発表会が開催されました。

この発表会では、水資源機構の関東・中部・関西・四国・九州の各ブロックから推薦された30論文の発表がありました。いずれの論文も各ブロックから推薦されただけあってレベルの高いものばかりでしたが、先月号のダム通信で紹介した川上ダム建設所の2論文が、みごと理事長賞と特別賞を受賞しました。

理事長賞を受賞した論文は、川上ダム建設予定地内に設置しているオオサンショウウオ保護池においてこれまでに行ってきた調査が、今後のオオサンショウウオの生態調査や保全対策にどのように活用可能かを体系的にとりまとめたものです。

特別賞を受賞した論文は、土地所有者から山林を借りて道路工事を行い、その意見を取り入れて原形復旧したうえで返還するまでの間、所内の関係課と連携しながら創意工夫した点についてとりまとめたものです。

今回のダブル受賞を機に、今後ますます技術の研鑽に励んでまいりたいと思っています。

【環境課 廣瀬真由】



理事長賞とったど～！

～伊賀の歴史を訪ねて～

私たちが住む伊賀には多くの史跡が残されております。これらの史跡を訪ね、伊賀地域の再発見が出来ればと思い「伊賀の歴史を訪ねて」を企画しました。

第1回目は、伊賀市寺脇にある宝蔵寺を訪ねてみました。

宝蔵寺は、近鉄青山町駅から約1kmの山裾にあり、約700年前（鎌倉時代）に亀山天皇の勅願により創建された由緒あるお寺です。お寺には平安時代に彫られたという国の重要文化財「十一面観音菩薩」が安置されており、柔らかな佇まいで地域の人たちに慈悲をかけて下さいます。

今から遡ること約430年前、群雄割拠の戦乱の時代にこの観音様は大きな災難に巻き込まれます。今年の大河ドラマ「軍師官兵衛」の主人公黒田官兵衛が活躍する時代、大きな勢力を誇る織田信長の長男信勝を大将として率いる織田軍5万が伊賀に攻め込んだ「第二次天正伊賀の乱（1581年）」が起こります。この乱で宝蔵寺も攻撃の対象となり焼け落ちてしまいましたが、観音様は織田軍が攻め入る前に住民の手により田に埋められ難を逃れ、今があります。実際に観音様を拝見すると想像以上の



十一面観音菩薩

大きさ（2mくらい？）で、トラックもクレーンもない時代に、敵が間近に迫り住民自身が命の危機にさらされているにもかかわらず、人力で運び穴を掘り埋めることは相当大変であったと想像できますし、そうまでして守られた観音様は、住民にとっても大切にされていたと感じました。

みなさんも、戦乱の世を乗り越え今も伊賀の人たちに守られている観音様を訪ね、伊賀で起こった歴史を感じてみては如何でしょうか。



宝蔵寺

【総務課 梅村喜重】

11月の転出者のご紹介

所属	氏名	異動先
工事課長	横尾美昭	比奈知ダム管理所（名張市）

イベントのお知らせ

クリスマスイベント「ときめきのライトアップ」2014

開催日時：12月21日（日）
開催場所：赤目四十八滝溪谷
お問い合わせ：赤目四十八滝保勝会
TEL：0595-63-3004

編集後記

今年も1年、川上ダム通信をご愛読いただき、ありがとうございました。来年も、川上ダム通信を通して、川上ダム建設所の取り組みなどを地域の皆様に発信していきますので、どうぞよろしく願いたします。



【広報誌発行事務局】

編集長	神矢（所長）	
デスク	梅村（総務課長）	田中（工務課長兼工事課長）
記者	渡辺（総務課）	高橋（第一用地課）
	桐山（第二用地課）	大谷（調査設計課）
	金井（環境課）	飯島（工事課）
	日隈（工務課）	